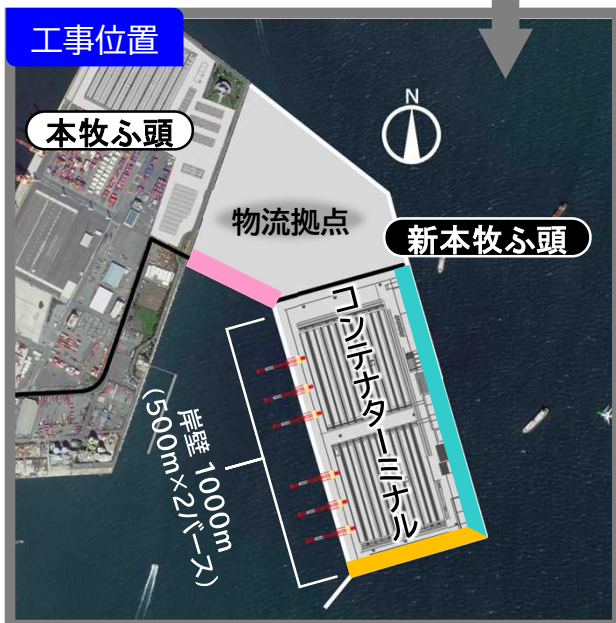




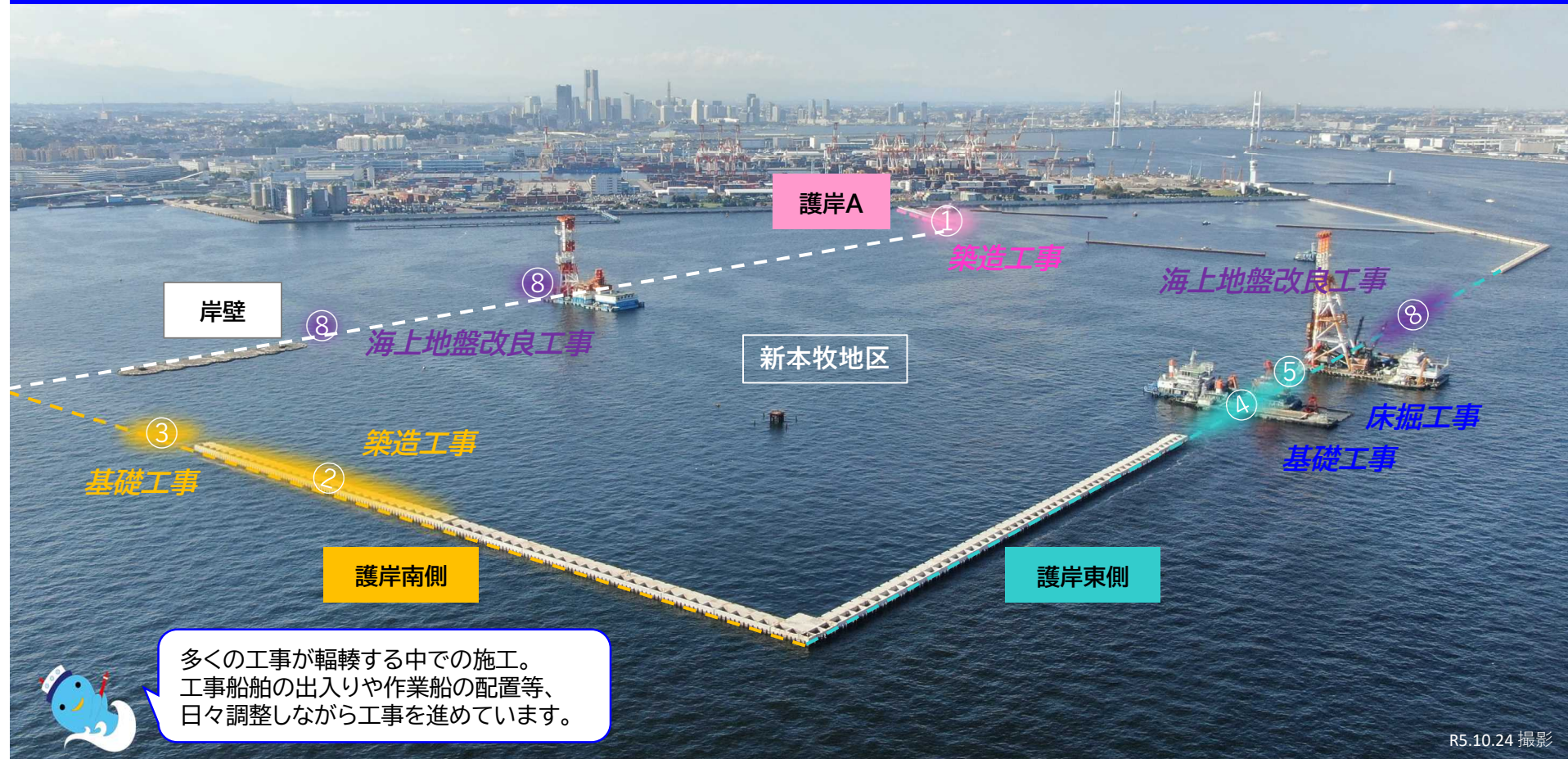
横浜港新本牧地区のコンテナターミナルを形成する
護岸(防波)等の整備を行います。

●現在施工中の工事

	工事名	工期	施工会社
護岸A	令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)A築造工事	R4.12.12 ~ R6.3.15	東洋・あおみJV
	基礎工、本体工(ケーソン6函 製作・設置、既設護岸接続用ケーソン2函 製作・設置)、裏込工		
護岸南側	令和3年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事	R3.11.26 ~ R5.10.31	東亜・あおみ・本間JV
	床掘、基礎工、裏込工、本体工(ケーソン8函 設置)		
	令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側基礎等工事	R4.1.26 ~ R6.2.15	若築・りんかい日産・大本JV
護岸東側	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側基礎等工事	R5.6.25 ~ R6.3.29	五洋建設(株)
	床掘、基礎工、裏込工		
	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)東側床掘工事	R5.7.18 ~ R5.10.20	大新土木(株)
共通	令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)本体工事	R5.2.15 ~ R6.3.22	日立造船(株)
	工場製作工(鋼殻製作)、本体工(ケーソン4函 製作)		
	令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)本体工事(その2)	R5.2.15 ~ R6.3.22	三井住友建設鉄鋼エンジニアリング(株)
	工場製作工(鋼殻製作)、本体工(ケーソン4函 製作)		
	令和5年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)他地盤改良工事	R5.5.8 ~ R6.1.19	若築・あおみJV
	海上地盤改良工(SCP, CDM)		

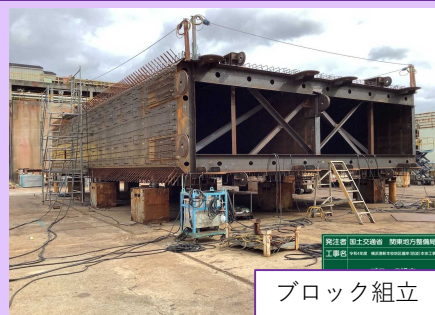


護岸A 護岸南側 護岸東側



R5.10.24 撮影

⑥令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)本体工事、⑦令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)本体工事(その2)



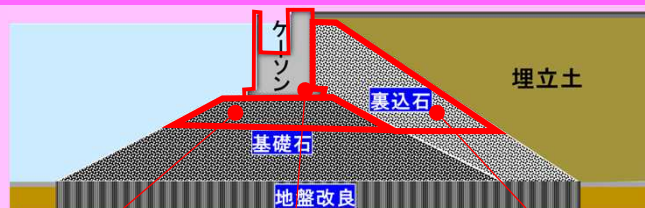
1つの工事で4函のハイブリッドケーソン、
全部で8函を製作しています。



完成形 (イメージ)



①令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)A築造工事



基礎工事 本体工事(製作・設置) 裏込工事



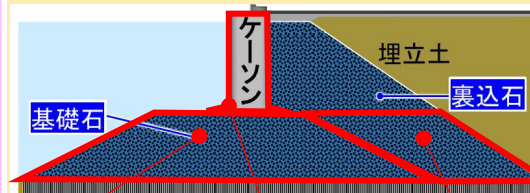
陸上でケーソンを製作中。
鉄筋を組み型枠を作った後にコンクリートを打設する。
この作業を繰り返します。



この場所は本牧海づり施設やシンボルタワーに近いので、作業の様子が見えるよ！



②令和3年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事



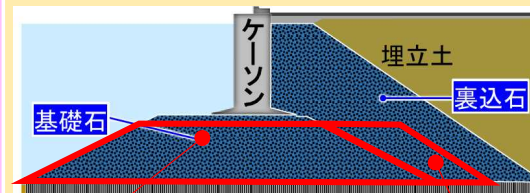
基礎工事 本体工事(設置) 裏込工事



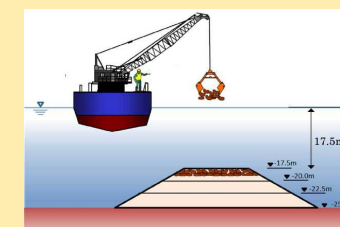
陸上で製作したケーソンを起重機船(3,000t吊)で吊った状態で設置場所までえい航し、設置します。



③令和4年度 横浜港新本牧地区護岸(防波)南側基礎等工事



基礎工事 裏込工事

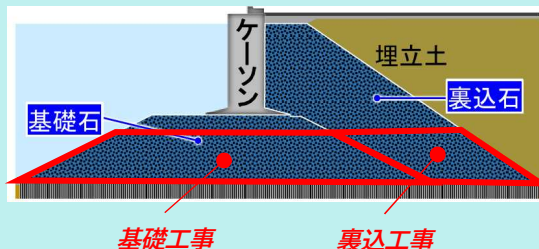


一気に投入するのではなく、
複数の層に分けて基礎石を投入することで、確実に構造物の基礎を構築します。





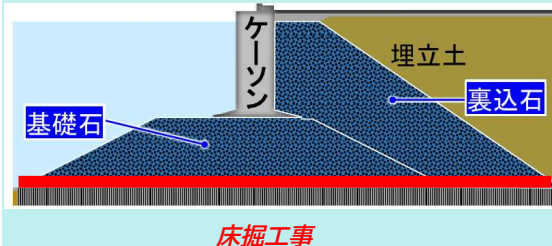
④令和5年度
横浜港新本牧地区護岸(防波)
東側基礎等工事



護岸の支持力を得るために投入する基礎石、
護岸の安定のためにケーソン背面に投入する裏込石、
これらに使用する石材を採取し、
検査します。



⑤令和5年度
横浜港新本牧地区護岸(防波)
東側床掘工事

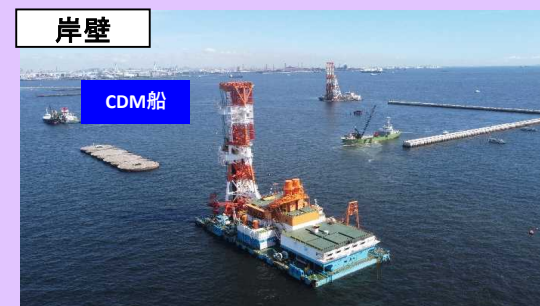
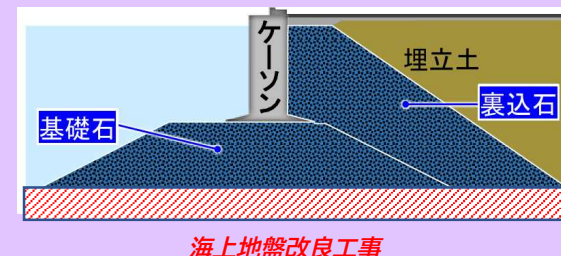


地盤改良工事後、計画している海底面より盛り上がっている土砂を撤去することを『床掘』と呼んでいます。



計画水深-27.5mとなるように、**グラブ浚渫船**により盛り上がり土砂を撤去しています。

⑧令和5年度
横浜港新本牧地区護岸(防波)他
地盤改良工事



CDM船(深層混合処理船)により、現地の土とセメント系固化材を混合した約4m～8mの柱状補強体を造成しています。

護岸東側



SCP船(サンドコンパクション船)により、強固に締め固めた砂杭を約200本造成することで、地盤を改良しています。